

18th

聞き書き甲子園フォーラム プログラム

13:30

13:35

開会の挨拶

13:35

聞き書きをした12地域の紹介

- ・山形県酒田市（飛島）
- ・山形県飯豊町
- ・新潟県柏崎市
- ・茨城県大子町
- ・愛知県豊根村
- ・三重県志摩市
- ・奈良県川上村
- ・福井県小浜市
- ・徳島県神山町
- ・山口県下関市
- ・大分県国東半島宇佐地域
豊後高田市／杵築市／宇佐市／
国東市／姫島村／日出町
- ・宮崎県都城市

14:55

14:55

15:15

優秀作品および写真表彰

15:15

休憩

15:25

“森・川・海の名人”と高校生の体験談

【聞き手】

塩野米松（作家）

阿川佐和子（文筆家）

☆代表で3組の名人と高校生が
登壇します。

16:25

16:25

閉会の挨拶（16:30 終了）



GUEST



阿川佐和子（文筆家）
あがわ さわこ

写真・柳木功

1953年東京に生まれる。慶応義塾大学文学部西洋史学科卒業。TBS「朝のホットライン」「情報デスクToday」「筑紫哲也NEWS23」などでリポーターやキャスターを務める。檀ふみとの共著『ああ言えばこう食う』で、第15回講談社エッセイ賞受賞。『ウメ子』で、第15回坪田譲治文学賞、「婚約のあとで」で第15回島清恋愛文学賞を受賞するなど、作家として活躍している。現在はTBS「サワコの朝」、テレビ朝日「たけしのTVタックル」にレギュラー出演中。2012年に出版された『聞く力』は170万部のベストセラーとなっている。



塩野米松（作家）
しおの よねまつ

1947年秋田に生まれる。芥川賞候補4回。小説やエッセイ、絵本と幅広い執筆活動を行う傍ら、人々の暮らしや職人の仕事を追って各地で聞き書きを続けている。著書に法隆寺の最後の棟梁といわれた西岡常一氏やその弟子に聞き書きした『木のいのち木のこころ』の他『失われた手仕事の思想』『大黒柱に刻まれた家族の百年』『にっぽんの漁師』『手業に学ぶ』『登頂 竹内洋岳』『もやし屋—秋田今野商店の100年』など多数。第1回聞き書き甲子園より講師を務める。



参加申し込み方法

参加費

無料

定員

200名

※先着順で申し込みを受け付けます。

申込締切

2020年
6月11日（木）

申込方法

以下のサイトよりお申し込みください。

<https://18forum.peatix.com/>

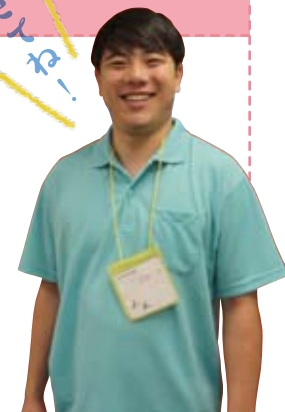
※サイトをご利用になれない場合、「フォーラム申し込み」と明記のうえ、
①お名前 ②住所 ③電話番号 ④e-mail ⑤所属（高校・団体・企業名等）を
記載し、FAXもしくはe-mailでお申し込みください。

お申込み・
お問合わせ先

NPO法人共存の森ネットワーク（聞き書き甲子園実行委員会事務局）

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301

TEL: 03-6432-6580 FAX: 03-6432-6590 E-mail: contact@kikigaki.net



【主催】聞き書き甲子園実行委員会（農林水産省 文部科学省 環境省 公益社団法人国土緑化推進機構 NPO法人共存の森ネットワーク）

【募金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート 【助成】公益財団法人日本財団 【協賛・協力】トヨタ自動車株式会社 富士フイルムホールディングス株式会社 京王電鉄株式会社
株式会社ティムコ 株式会社トンボ 株式会社長塚電話工業所 株式会社ベネッセコーポレーション 一般財団法人環境文化創造研究所 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会
公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団 【後援】総務省 全国知事会 全国市長会 全国町村会 全国山村振興連盟 全国過疎地域自立促進連盟 NPO法人「日本で最も美しい村」連合

ファミリーマートは、「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION